

日本建築家協会 (JIA) 建築家クラブ金曜の会 特別企画
「建築家 槇文彦の3回連続講座」

第1回 6月9日(金)

漂うモダニズムと共生のヒューマニズムの建築

「漂うモダニズム」から「応答漂うモダニズム」、そして共生の New Humanism まで
著者の軌跡をたどる。



第2回 10月6日(金)

Another Utopia その後

第3回 12月8日(金)

グローバル化の中での
建築設計

■会場: 建築家会館 JIA館1F建築家クラブ

渋谷区神宮前 2-3-18 TEL:03-3408-8291

■時間: 19:00-20:30 (18:30 受付開始)

■参加申込: 氏名、所属、連絡先をご記入の上、前日までに下記宛にメールにてお申込み下さい。CPD 単位が必要な方は一級建築士番号 (JIA 会員) 又は CPD ID 番号 (他団体/協会) をご記入下さい。

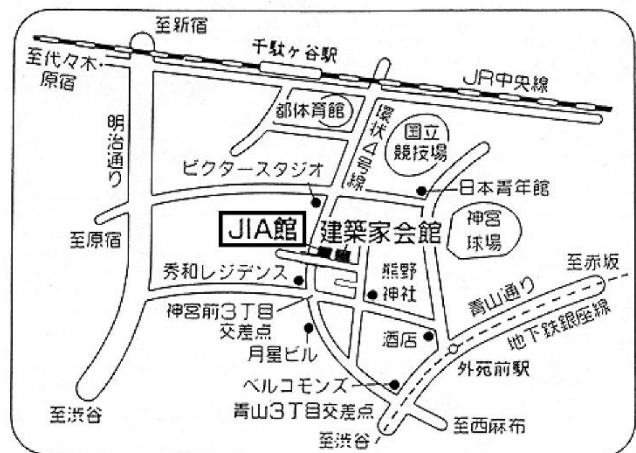
■参加費: 1500円 (学生無料) 飲食代含む

■主催: JIA 金曜の会 (部会長 日高敏郎)、

■協賛: NPO建築家教育推進機構

■CPD: 認定プログラム 2 単位

■申込、問合せ: frdmjia@gmail.com 当日連絡: 070-1265-7008 (佐藤)



槇文彦氏のプロフィール



1928年東京都に生まれる。1952年に東京大学工学部建築学科を卒業し、アメリカのクランブルック美術学院及びハーバード大学大学院の修士課程を修了。その後は、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル、セルト・ジャクソン建築設計事務所、ワシントン大学のキャンパス・プランニング・オフィスに勤務する。ワシントン大学とハーバード大学で都市デザインの準教授も務める。1965年に帰国、株式会社槇総合計画事務所を設立。

帰国後も中規模の建築士を持つオフィスを構えながら、東京大学教授も務める(1979~1989年)。現在に至るまで日本を含め、アメリカ、ヨーロッパ、アジアで設計活動を行っている。2008年までに「見え隠れする都市(鹿島出版会)」「記憶の形象(筑摩書房)」「漂うモダニズム(左右社)」「Nurturing Dreams(MIT Press)」が出版されている。今年秋、岩波書店から「残像のモダニズム」出版予定。

主な受賞歴は、1988年にウルフ基金賞、1990年にトーマス・ジェファーソン建築賞、1993年にプリッカー賞、国際建築家連合(UIA)ゴールドメダル、プリンス・オブ・ウェールズ都市デザイン賞、1999年に高松宮殿下記念世界文化賞建築部門受賞。2011年にはAIAアメリカ建築家協会からゴールドメダルも受賞。日本建築学会賞(1963,1985)、毎日芸術賞(1967)、朝日賞(1992)、その他。

主な作品

- 1960 名古屋大学豊田講堂
- 1969-92 ヒルサイドテラス
- 1975 沖縄海洋博覧会水族館
- 1981 慶應義塾大学図書館・新館
- 1984 藤沢市秋葉台文化体育館
- 1985 スパイラル/京都国立近代美術館
- 1989 幕張メッセ
- 1990 東京体育館
- 1993 イエルナ ブオナ 芸術センター(サンフランシスコ)
- 1994 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
- 2003 朱鷺メッセ/新潟コンベンションセンター
- 2006 島根県古代出雲歴史博物館
- 2009 マサチューセッツ工科大学 新メディア研究所(ケンブリッジ)
- 2013 4ワールド・トレード・センター(ニューヨーク)
- 2014 アガ・カーンミュージアム(トロント)
- 2016 シンガポール・メディアコープ
- 2017 ビハール州立美術館(インド・パトナ)
- 東京電機大学キャンパスI・II